【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-304684(P2007-304684A)
【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-045
【出願番号】特願2006-130010(P2006-130010)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/30　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　 3/048　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/30　　３６０Ｚ
Ｇ０６Ｆ　 3/048　　６５１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
属性値を複数個記憶する記憶媒体と、この記憶媒体に記憶された属性値を３次元に配置して表示する表示装置と、この表示装置の３次元表示において手前から奥に表示される情報ほど共通する属性値でまとめて表示する処理部とを備える検索補助装置。
【請求項２】
前記表示装置は、最近の領域、最遠の領域、および最近の領域と最遠の領域との中間領域の少なくとも３つの領域に分けて表示することを特徴とする請求項１に記載の検索補助装置。
【請求項３】
前記処理部は、前記最近の領域に配置される情報を、前記記憶媒体の主たる属性値毎に表示することを特徴とする請求項２に記載の検索補助装置。
【請求項４】
前記記憶媒体は前記属性値に対応付けられた静止画又は動画をさらに記憶し、前記処理部は、前記属性値に対応付けられた静止画又は動画を前記表示装置に表示する請求項１に記載の検索補助装置。
【請求項５】
前記処理部は、３次元表示の遠近方向と前記表示装置の表示領域に係る対角方向とを略一致させることを特徴とする請求項１に記載の検索補助装置。
【請求項６】
車両に搭載される検索補助装置であって、前記処理部は、操作者位置が助手席側であれば助手席側を最近の領域として表示し、操作者位置が運転席側であれば運転席側を最近の領域として表示することを特徴とする請求項５に記載の検索補助装置。
【請求項７】
前記処理部は、３次元表示の遠近方向と前記表示装置の表示領域に属する一点を基準とする放射方向とを略一致させることを特徴とする請求項１に記載の検索補助装置。
【請求項８】
前記処理部は、前記表示装置に対して前記属性値をユーザによる指定順に３次元表示の遠

近方向に沿って表示させることを特徴とする請求項１に記載の検索補助装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明に係る検索補助装置は、属性値を複数個記憶する記憶媒体と、この記憶媒体に記憶された属性値を３次元に配置して表示する表示装置と、この表示装置の３次元表示において手前から奥に表示される情報ほど共通する属性値でまとめて表示する処理部とを備えるものである。本発明における字句の解釈は、次のとおりである。